

会 議 録

附属機関又は 会議体の名称		第4回 豊島区観光振興プラン策定委員会
事務局（担当課）		文化観光課
開催日時		令和5年 9月 28日（木） 17時～19時
開催場所		区役所本庁舎としまセンタースクエア
議 題		1 開 会 2 ツイート内容調査、来街者動向調査及び区民意識調査（モニター調査）を踏まえた豊島区における観光の現状及び課題について 3 新 豊島区観光振興プラン 骨子（案）について 4 その他
公開の 可否	会 議	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 傍聴人数 0人
	会 議 録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
出席者	委 員 員	羽生冬佳委員、伊藤茂夫委員、東谷彰子委員、官沢のぞみ委員、塩野泰委員、小寺徹委員、千野富久委員、田邊紘子委員、秋元志保委員、近藤健二委員、平松恵一郎委員、小池章一委員 <div style="text-align: right;">計13名</div> 欠席（2名）：近江正典委員、三橋和也委員
	事 務 局	国際アート・カルチャー都市担当部長、SDG s 未来都市推進課長、文化観光課長、文化デザイン課長、生活産業課長、都市計画課長、文化観光課職員4名

審 議 経 過

1. 開会

(事務局) 今日はお忙しい中、ご出席頂きましてありがとうございます。

ただいまから第4回豊島区観光振興プラン策定委員会を開会させていただきます。

それでは、議事に入る前に、会議の公開についてお諮りいたします。ここでの議論の内容を多くの区民のみなさんにも知ってもらうため、会議や会議録を公開したいと思います。区では審議会等の会議について、公開を原則としており、これまでの会議及び会議録についても、公開をしておりましたが、みなさん、いかがでしょうか。

(了承)

ありがとうございます。会議録の公開については、個人が特定されないよう配慮致しますので、ご安心ください。

本日、2名が欠席です。また、傍聴の希望者はありません。

資料の確認をお願いいたします。不足がありましたら、お知らせください。

参考として、現行プランも置かせて頂いておりますが、こちらは次回も使用しますので、置いて帰って頂いて構いません。

併せて、皆様にご確認頂いた第3回委員会の議事録の最終版を配布しています。こちらの内容で、個人名は記載しない形で公開させていただきますので、ご了承ください。

それでは開会にあたり会長よりご挨拶をお願いいたします。

会長よろしくをお願いいたします。

(会長) 皆様、お忙しい時間帯にお集まりいただきまして、本当にありがとうございます。

今日は大学院の授業で、「質の高い観光」について留学生も含め、議論をしました。

今回の観光振興プランの改定は終盤に差し掛かっていますが、結局、住みやすい区をつくり、区民の人や近隣からの訪ねていただける場所となることが、「質の高い」ということとかなり整合しているのではないかと思います。

今日は骨子の部分を最終的に詰めていく段階ですので、ご意見をお聞かせ頂ければと思います。短い時間ではありますが、ぜひ良いものを作るために活発なご議論をどうぞよろしくをお願いいたします。

(文化観光課長) はい、どうもありがとうございました。それでは、当委員会設置要綱第5条4第4項会長は、会務を総理し、委員会を代表するとございますことから、議事進行を会長にお願いしたいと思います。会長、よろしくをお願いいたします

2. ツイート内容調査、来街者動向調査及び区民意識調査(モニター調査)を踏まえた豊島区における観光の現状及び課題について

(会長) はい、それでは次第に従って進めさせていただきます。

次第にあります 2 ツイート内容調査来街者動向調査および区民意識調査(モニター調査を踏まえた豊島区における観光の現状および課題について事務局よりご説明をいただきま

す。その後委員の皆様には、ご発言いただきたいと思います。では、よろしくお願ひいたします。

(事務局) それでは、資料 1 をお取り出ください。資料 1 では、調査結果をグラフ等にして、そこから導き出される課題を抽出しましたので、ご説明させていただきます。

課題を踏まえて、その課題をどのように解決していけば良いか、これまでの議論を経て、この調査結果には現れていない部分での課題など、ご意見を頂戴できればと思います。

まず来街者の訪問エリアについて、結果としては 8 割以上が池袋への訪問で、池袋以外の地域が選ばれていない現状があります。そこで池袋以外の地域の魅力を発信し、誘客することが必要です。

2 番目、地域特性では、各地域のツイート内容を分析する中で、各地域の特徴・魅力というものが、見えてきました。このような地域特性を踏まえて PR し、誘客を促進していくことが必要です。

3 番目、ビジネス訪問の前後に観光しなかった理由では、「行きたい場所は無かったが、観光情報があれば行っていた」という方もいて、ビジネス客へ観光情報の提供ができていないという課題があります。

4 番目、観光目的の訪問先では、やはり 7 割以上の方がショッピング・買い物で、5 割弱の方が、飲食を目的に訪問しているということが見えてきました。街歩きが 2 割 5 分程度あり、豊島区内を歩いて楽しむことができるということも PR していければと思います。

5 番目、情報入手経路では、一番右側のグラフで「情報は得ていない」というのが 5 割弱ほど出てきています。これは、目的地や自身が参加するイベント情報は調べていくけれども、豊島区全体の情報は得ていないという意図で選んでしまったのではと懸念されます。これを除く結果では、「インターネット上のウェブサイト」から情報を得ているという方が一番多く、次に多いのは口コミです。SNS については、報告の中身を見ていただきますと、性別・世代に特徴があるのがわかり、ターゲットを意識した情報発信を強化していく必要があります。

6 番目、滞在日程ですが、一都三県を除く全国から来ている方は、日帰りが約半数で、遠方からの滞在を促すことが課題になります。

7 番目、豊島区のイメージですが、来街者では 1 番目が「交通の利便性が高い」、2 番目が「活気がある」、3 番目が「混雑している」という結果となっています。「文化に多く触れることができる」「サブカルチャーに多く触れることができる」という回答が伸びていないことから、文化によるまち作りのイメージをさらに醸成していく必要があります。

「怖い・汚い」というイメージは低いのですが、まだこのようなイメージを持っていらっしゃる方もいますので、安全・安心なまち作りは行政として、引き続き取り組んでいく必要があると考えます。

区民の調査結果がオレンジ色の折れ線で、青・水色の折れ線とちょっと乖離しているのが、文化に関するイメージ、「欲しいもの・食べたいものがすぐに手に入る」、「交通の利便性が

高い」という回答です。

8 番目、国内の移動手段では、JR、東武東上線、西武池袋線、地下鉄をお使いになっているという結果です。徒歩で街歩きのような形で楽しんでいる方が、いらっしゃるということもわかります。また、IKEBUS、東京さくらトラムも使われていて、移動する手段の中で、都電に乗れるということであれば、観光資源としてのPRを強化していくことも必要と考えます。

9 番目、買い物をした場所では、半数以上は「百貨店・デパート・駅ビル」という結果でした。これは池袋駅の特徴でもあります。駅から出ずに全ての用事が済ませることができることによると思います。駅から出た周辺地域をPRし、観光消費を促す取り組みを推進していくことが必要です。

10 番目、食事をした場所では、「カフェ・喫茶店」の割合が一番高く、続いて「食事はしていない」という方も23%もいらっしゃいました。区内で飲食を楽しんでもらうために、おもてなしの環境整備も課題として挙げられます。「カフェ・喫茶店」ということで、クロス集計を見ていくと20代30代を初めとした女性が多く、若年女性に選ばれているということが読み取れます。住みたいまち訪れたいまちの実現のために、女性若年層をターゲットにした施策展開の強化を検討します。

11 番目、訪問全体の満足度では、6割が「満足」という結果になっており、女性の満足度が高めに出ています。

12 番目、施設やサービス毎の満足度では、「交通機関」、「ショッピング」、「食事施設」の満足度は高く、「観光情報の入手のしやすさ」、「案内標識の分かりやすさ」は満足度が低くなっています。先ほどもあったのですが、「混雑している」というイメージもある中で、滞在環境を整備していくことが必要だと考えます。

13 番目、豊島区訪問の推奨度では、遠方からの来街者の推奨度が高くなっています。区民および近隣からの来街者の訪問推奨度の向上を、課題として出させていただきます。

14 番目、施設・イベント別の認知率、訪問率、推奨率では、来街者を対象にした調査結果を、グラフにしたものになっています。やはり「サンシャインシティ」への訪問が一番多く、2番目が「池袋西口公園」、3番目が「東京芸術劇場」、4番目が「巣鴨とげぬき地蔵・巣鴨地蔵通り」となっております。四つの公園では面白い結果が出ていて、来街者がおすすめしているのは「池袋西口公園」で、区民がおすすめするのは、「南池袋公園」なっています。前回委員会での議論で、「南池袋公園」は来街者も多いのですが、区民の憩いの場になっていて、来街者が増えることで、区民が利用できなくなるという弊害もあり、どのように考えるかという点も、ご意見を頂ければと思っています。

15 番目では、区民に来街者が増えることについて聞いていて、半数以上は「良いと思う」と回答しています。「混雑して住みづらくなる」「治安も悪くなる」「経済的には貢献するが割に合わないことが多い」という、マイナスのイメージを持っている方も一定数います。区として、引き続き安全安心のまちづくりに取り組むことが、必要になると考えます。

今回の調査結果概要についての説明は、以上となります。

(会長) はい、ありがとうございます。では、ただいま事務局からご説明いただいた内容や、事前にお配りしている資料内容から、皆様からぜひご意見をいただければと思います。時間の都合上、1人2、3分程度でお願いできればと思います。

(委員) はい、大変参考になる資料でした。「住みやすい、訪れたい」というのは、良い指針だと思いました。「住みやすい」は全国でも言われているところで、豊島区は非常に便利だと言われています。また住宅地と繁華街が混在しており、良いまちづくりをしていると思います。

「訪れたい」というところでは、資料1の4「観光目的の訪問先」に関連しますが、見どころが多く点在している中で、ウォークブルを実現するには、わかりやすいことが大事だと思います。特に一都三県の方は、それ以外の全国の方と違って歩いて移動するので、歩きやすいことが重要だと感じています。

10番目の「食事をした場所」で、場所ではなく何を食事したかになっています。食事した場所だとおそらく、百貨店の中やショッピングセンターを多く使われていると思います。ここから、どういった店づくりをしたら良いかの参考になるのではないかと思います。

8番目の「区内の移動手段」でのIKEBUSと都電は、行き先に目的となる場所があるということ、どれだけ訪れる方に伝えられるかが大事だと思います。

情報発信では、メディアを呼ぶ際に、業界誌の紙面に載せるという方法もあるのですが、YouTuberやそのような方面で影響のある方を呼びました。結果としては、若年層に限らずかなり早い反応がありました。映像による魅力の発信によって、鮮明にアピールをして訪れるお客様を増やして頂きたいと思います。

(会長) はい、ありがとうございました。

(委員) 今年6月に、フランスでは旅行者数を減らしていく方針を発表しています。フランスだけではなく、アムステルダムも同様です。

オーバーツーリズムによって、時間もお金も使わない観光客が増えていくことが、その地域にとって良い影響だけがあるわけではないので、制限をすることによって理解のある方々、お金と時間を使ってその街を楽しんでくださる方々を、集めたいということを行っています。そういった意味では、この資料にある、理解があるうえで池袋や豊島区を訪れてくださる方々を増やしていくための発信をしていくと良いと思います。3「ビジネスの訪問の前後に観光しなかった理由」で、ビジネスで来た方々へは、視察を兼ねたコンテンツを発信しています。必ずしも観光を楽しむだけではなく、新しいビジネスが生まれるようなアイデアを持ったカフェや、新しい取り組みをしている人の紹介などのコンテンツを提供しています。そうすることで観光だけではなく、ビジネスマインドで来ている人たちが、新しいアイデアが得られるような場所なのであれば、少し寄ってみよう、見ていこうというようになると思うので、発信にアングルをつけていくのも良いかと思いました。

(会長) はい、ありがとうございました。次の方お願いいたします。

(委員) ありがとうございます。大きく二つございまして、一つが発信の方法について考えておりました。5番のところでは、情報入手経路のイメージ付けがあまりできていないという印象です。我々がどこに行きたいか考えたときに、千代田区に行きたいという人はいないと思います。池袋に行きたい巣鴨に行きたいとか、豊島区として発信するというよりは、しっかりと地名や目的地を出して発信をしていくということが、非常に親和性が大きいのではないかと思います。

もう一つが、行動特性の8、9、14番ですが、特に9番の「買い物をした場所」でお買い物のついでにどこか他のところを見るということは、ほとんどないと思います。どこかスポットがあって、そのついでに買い物をするというのが自然の流れになります。コンテンツの磨き上げと言ってしまったら抽象的になってしまいますが、区民の方が、南池袋公園が良いとする理由が必ずあると思います。理由によっては、観光客にははまらないものもあるかと思えます。そこに何かしらのエッセンスがあり、それが池袋、豊島区の魅力なのであれば、そこから新しいコンテンツや既存のコンテンツを発掘し、磨き上げていくのが一番の近道というように思いますし、無理がない方法かというように感じました。

移動手段についても、スポットがあってそこに行くための目的として、こういった手段がありますという新しい気づき提案することで、特に一都三県の方は気軽に来て頂けて、良ければ次もリピートしていただくという流れになるかと思えます。

(会長) どうもありがとうございました。次の方、お願いします。

(委員) はい。我々もコロナ禍を経て、多くの方が来ていただければ満足というところではなくなってきていることは理解しております。近隣の環境や、消費行動が変わり、価値観も変わってきている中で、たくさん来ていただいて、混んでいたという印象で帰って頂くということについては、少し考えなくてはならないと思っています。

例えば、コロナ前は来たお客様はすべて入れるという考えでしたが、今はしっかり楽しめて、また来たいと思ってもらえるような、お客様の心に寄り添った運営を行っています。商業施設として収益的には厳しくなるので、時間帯や繁忙期に入場料を変えて、そこにご理解を頂ける方に、満足していただくということを行っています。

(会長) はい。ありがとうございます。次の方お願いします。

(委員) いつも感じることですが、豊島区、池袋、その他地域が、それぞれが整理されていないと、まとまらないだろうなというように思います。先ほどのお話もありますが、豊島区に行こうという方はおそらくいないので、結果的に自分の目的を果たしたい場所はどこかとなると、池袋という街は何でもできて、利便性があるので何もしなくても人は来ると思えます。池袋は、新宿・渋谷と何が違うのかという点では、一切差異がないと思っています。

文化によるまちづくりが、高尚な文化なのか、オタク文化なのかのかわかりにくいと感じています。その文化としてどういう人に来て欲しいのかということ、豊島区がイメージしているのであれば、それに向けたPRをした方が良いと思います。よく議論にあります、

来てほしいのは人の数なのか、来た人が使うお金の金額なのかを明確にする必要があります。

最後にもう一点、先週富山県の高岡市に行って思ったのですが、ご飯食べようと思ったときにネットで検索しても出てこず、ホテルにあるパンフレットにも欲しい情報が書いていませんでした。ホテルに聞いても、誰もよくわからないという状況でした。やはり地元の方、もしくは働いている方が地元のことを知らなさすぎることに、特に商店街とか、いわゆるお金を使う BtoC のビジネスをしている方々であれば、「あの店行ったらいいよ」「この店行ったらいいよ」ということができると、区内を回遊とはいかなくても、町内を回遊させることができ、経済活動も回るのではないかと考えています。そういう意味ではまずは区民の方、区内で働いている方を含めて、来てほしい人は誰で、何をしたいのかということ、もう少し明確に伝えられたらいいなと思いました。

(会長) はい、ありがとうございます。では次の方をお願いします。

(委員) 頂いた資料を読ませて頂いて、住んでいても知らないことが多かったと感じました。来街者と住民での意識の違い、楽しんでくださっている方が多くいるということや、やはり混雑しているという印象を持たれていることがわかりました。西口周辺を歩いていると、並んでいるラーメン屋さんがとても多いことに驚きます。我々、住民はなかなか並んで食べようとは思いません。

また、豊島区はいろいろな魅力を持っていると思いますが、私の場合どうしても池袋に偏ってしまうのですが、埼玉県から池袋に遊びに行くとき、怖いとまではいかないけれど緊張感を抱くという話を聞いたことがあります。そういうもの乗り越えて来ていただいて、満足して帰って頂いているようですが、このイメージと混んでいるという環境を変える必要があると感じます。

また、UberEats の配達している人には日本人が減ってきていて、路上に座り込んでいる様子が見受けられ、ちょっと怖いと感じる人も出てきているかもしれません。

池袋駅西口駅前の開発により、大きなビルが建ち、現在あるビルもそうですが、どのようなテナントに貸していくかということも考えてもらおうと、まちのあり方も変わってくるのではと思います。

もう一つ、豊島区には学校も増えており、学校を巡ることも観光の一つとして良いのではないかと思います。

多様性があるが混沌としていて、混雑しているこの街をどう捉えて、お客様に喜んで頂けるようなまちづくりをするかを、このプランと一緒に考えていきたいと思っています。

(会長) 貴重なお話ありがとうございます。では、次の方をお願いします。

(委員) はい。ご提示いただきました資料ですが、大変興味深く拝見させていただきました。その中で、12 番で「情報の入手のしやすさ」といったところで、地域の特性もあると思いますが、情報が多くあるがゆえに、わかりやすく情報を入手する方法が、一つ大きな課題ではないかと考えております。それぞれの地域にある魅力溢れているコンテンツを、

一度にわかりやすくヒットし伝えられる手段があったら良いと思います。

池袋西口公園のグローバルリングが、来街者に認知して頂いているという結果が出ていました。2019年にできたのですが、すぐにコロナ禍になりイベントもあまりなかった中で、これだけの認知度があるということは、とても魅力的なのだなと思いました。現在行われている Yube などのイベントを継続していくことが、認知度に繋がっていくのではないかなと、改めて拝見させていただいたところでもございました。

(会長) はい、ありがとうございます。では次の方をお願いします。

(委員) 大変興味深く拝見させていただきました。一番気になったのが、豊島区のイメージの区民と来街者との差で、特に数字が乖離している点です。区民は「欲しいもの・食べたいものがすぐに手に入る」が46%で、来街者は半分以下でした。区民の方の持っている情報が、来街者には届いていないということが、数字に表れたのかと感じました。

それで、情報入手経路のところを見ると、情報を得ていないというのが45%ということで、自分自身の用事を済ますためだけに、区にいらっしゃっている方は情報を調べる必要がないので、そのような来街者が多いのかなというふうに感じました。

先ほどから皆様がおっしゃっているのですが、区民が持っている情報、区が持っている情報を、来てほしいターゲット毎にどのような形で情報発信していくのかを考える必要があると感じました。

(会長) はい、どうもありがとうございます。次の方お願いいたします。

(委員) はい。やはり情報発信の方法を工夫していくと良いと思います。宿泊につながっていないということから、その辺で食事をしていないとか、ナイトライフが少し弱いのかなという気はしました。先ほど、フランスで観光客を減らしていくという話を伺って、自分の考えがまとまらなくなってきています。

先ほどおっしゃっていた、どういう人に来てほしいのかと考えたときに、区民がこういうまちにしていきたいということが先にあって、それがすごく良いので、ぜひ見てほしい・知ってほしいとなるのかなと思いました。

観光の目的で、「街歩き」が多くいたところは、すごく良いと思いました。ぜひモデルコースを作りながら、PRできると良いと思います。あわせて自転車が少なかったのも、自転車も使えるような形で推進できると良いと思います。

(会長) どうもありがとうございます。それでは次の方お願いいたします。

(委員) はい。私もこれを見ていて、何でも取り込もうとするのは、無理があるのではないかと思います。やはりターゲットを絞り、どういう層に来て欲しいのかというのをある程度決めて、計画を立てていく必要があると思います。というのも、3番目の「ビジネス訪問の前後に観光しなかった理由」のところ、「観光情報があったとしても行かない(行けない)」とあるので、あえてビジネスをターゲットにしなくても良いのでは、というぐらい大胆な切り分けも必要かと思いました。

10番の「食事をした場所」で、カフェ喫茶店が一番多く、20代30代女性が多いというこ

とでしたら、20代30代女性を呼び込むにはどうしたら良いかということ、最初に考えても良いかと思えます。

かつて消滅可能性都市と言われたときに、子育て世代が住みやすい街に徹底的にシフトしようということで、見事に改善したわけです。南池袋公園はまさにその典型的な例だと思います。そのように、どのような層を豊島区に観光客として呼び寄せたいかということに絞って、そこにフォーカスして計画を絞った方が良いのではと、今回の調査結果を聞いて思いました。

(会長) はい、ありがとうございます。次の方をお願いします。

(委員) ありがとうございます。調査結果によると20代の若い女性で1都3県から来られる方は、泊まらずアニメイトなどへ行き、買い物をして、食事はせずにおしゃれなカフェに行って、そのまま夕方には戻られ、街歩きの目的では、ご高齢の方が多く来て頂いています。このように来街者の行動パターンが、ある程度見えてきていますので、それぞれに合ったまち歩きのおすすめコースを、こちらでいくつか作り上げて案内をすることで、ウォーカブルな街を実現できればと思います。

さらにオーバーツーリズムでは、数の問題と旅行者のマナー問題があるのかと思っています。やはり理解のある人たちにより多く来ていただいて、数だけではなくやはりお金を落とすことで、まちが観光によって潤い、それが区民にとっても良いと思って頂けるようなプランを作成し、実現できると良いと思っています。

(会長) はい、どうもありがとうございました。皆様からのご意見として、豊島区・オールっていうのは、現実的ではないというところは一致しているのではないかと感じました。ご意見がありましたが、豊島区に来ようと思ってくる人はほぼいないというのは、本当にその通りで、「池袋、大塚、巣鴨、目白に行きます」、しかもその中でも地名ではなく、「とげぬき地蔵、大塚の飲み屋に行きます」という、個別のスポットに目的を持って来街をされるというのが、実態だと思います。それをオール豊島にしようというのやはり難しく、地域特性というのが、一つキーワードになるのではないかとかねてより思っておりました。これに加えて、池袋とそれ以外の地域という分類では、池袋は交通結節点なので、人は来ますし、それ以外の駅では山手線の乗降客数で下位にある駅もあったと思います。このことから、区の利便性が高いというイメージも偏りがあるかと思っています。豊島区の地区ごとに細分化すると、それぞれの地区の特性があり、ターゲットも変わってきます。この計画は豊島区全体の観光計画ですから、これらを意識しながら書く必要があると思っています。

それからもう一つ、“歩く“や“ウォーカブル”は時代ですので、どこかに織り込んでいくことになると思います。街を歩いて見ていただくと、時間がかかりかかります。一般論として、長い時間滞在すればそこで何らかの消費を行います。ここで、バスや電車で移動されると、ポイント毎に移動されてしまうので、歩いてもらいたいエリアに、当然お金が落ちなくなってしまいます。歩きというのは、消費額が高額か低額かは別にしても、消費を

促す上では、とても重要な活動だと思っています。

「住みたくなるまち、自分たちがどういうまちを作りたいのかというのが先にあって、それに価値を見出してくれる方に来てもらうべき」というのは、すごく良いご指摘だと思いました。観光はまち作りの総仕上げで、観光のためにまちを作るのではなく、良いまちを作ってそこに来てもらおうというのが、観光の本来果たすべき機能であるというふうに、私はずっと習ってきました。今日皆さんの多くからそういう意見が出たのは、とてもありがたいです。皆さん自身が今後どういうまちを作っていくのか、それに価値を見いだしてくれる方が来てもらえれば良いのではないかというのは、まちを構成している人、区に関わる人の考え方として、重要なのではないかと思っています。

また、プランを策定する上では、

先ほどおっしゃっていただいた、海外の観光地の総量規制はマナーなどの諸問題が無視できなくなってきたからであろうと思います。我々も、誰でも来て良いです、すべての情報を流しますではなく、情報を絞り、来ていただきたいお客さんだけにリーチするような方法を取るの良いと思います。

先ほど“文化”についてご意見がありましたが、やはり豊島区は文化だと思っています。14番目の認知度では、認知度の高いところを見ると、アトカルも含めて文化政策に取り組んできたことの効果が出てきているのではないかと思います。またマンガ・アニメについては重要な要素ですが、PRをしなくても人は来るとしています。もちろんマンガ・アニメも含めて文化で良いのですが、区としてあるいは住民の意向として推していく文化を絞って、情報を取捨選択して、メッセージとして伝えられる情報伝達ということ、課題に挙げても良いのではないかということ、皆様のお話をお伺いして感じています。

3. 新 豊島区観光振興プラン骨子（案）について

（会長）続いての議題の「3 新 豊島区観光振興プラン骨子（案）について」を、事務局より説明をいただければと思います。よろしくお願ひします。

（事務局）はい。資料2を中心にしてご説明させていただきたいと思っています。

まず第1章では、「改定の背景と目的」としてコロナ禍を経て、5年後の豊島区の観光まち作りの将来像をイメージしていきたいと思っております。「計画期間」は来年度からの5年間になります。「位置づけ」は、豊島区基本計画の観光振興分野における補完計画となっています。

第2章、「豊島区を取り巻く観光の現状と課題」では、まず1つ目に、国・都における観光の現状について、簡単にまとめさせていただく予定です。2つ目は、「豊島区における観光の現状」ということで、豊島区の特徴的な部分の人口、宿泊施設、外国人旅行者の滞在日数を挙げています。また、前回お示ししたツイッター調査の結果に基づいて、地域の特徴的な部分や考察や来街者の動向調査、区民の意識調査の結果から読み取れる内容についてもまとめていきます。3つ目は「豊島区における観光の課題」ということで、(1) から (15) まで挙げています。豊島区としての観光の課題としては、これ以外にもあるかと思ひます

ので、そういった部分も出していただきながら、見直しを行っていきたいと思っています。4つ目は、「前回プランの次期プランへの継続について」ということで、資料4は、現行プランの施策が今回検討しているプランに継続していくのか、それとも役割を終えているのか、一部分は役割を終えているが、まだ足りないことがあるのかといった部分ができるような表になっております。

第3章、「観光振興プランの目標と具体的な取り組み」では、目標を掲げます。現行のプランでは、24ページにある“多彩な文化と多様な人々の交流で賑わう『国際文化都市』としま～世界に誇れるとしま観光ブランドの確立～”でした。こちらを前回の議論等も踏まえて、“多彩な文化で賑わう誰もがときめく都市としま～オールとしまで推進する持続可能な都市の実現”とさせていただきます。

このようにさせていただいた内容については、資料3の冒頭の部分でまとめさせていただいております。

続きまして、ビジョンは3つ掲げています。後ほど説明しますが、5年後のまちの将来像をビジョンとして整理しました。また、改定後に進捗管理を行う観光振興プラン推進委員会を立ち上げ、参考指標によって、モニタリングを行う予定です。

ビジョン1は、“色とりどりのまちの輝きで魅せる観光の実現”と修正させていただいております。これは、豊島区が多様な文化があふれるモザイク都市と言われることもあり、そういった色とりどりの輝きのあるまちで魅せる観光を実現していきます。

ビジョン2は“オールとしまによる「稼げる」地域経営の実現”です。先ほどの議論でありましたが、コロナを経てインバウンド一辺倒だった自治体で今問題が起きていることや、オーバーツーリズムによる弊害も出てきています。量よりも質の部分にこだわって、最終的に消費額をどう拡大していくかというところを見据えて、「稼げる」地域経営の実現を目指します。

ビジョン3は、“区民が誇れる「住みたい・訪れたい」まちの実現”です。こちらも、先ほどの調査結果や委員からご意見でもあったのですが、住んでいる区民の方が、区の魅力を理解し、それを発信することや、来街者の方に伝えていくことが必要だと考えます。また、区民が住んでいるまちを誇りに思うことが、より良いまちづくりも繋がっていくということで挙げさせていただきます。

次に施策の体系です。まず、「戦略1 多様な文化資源の発掘と活用」です。こちらは、前回までは国際アート・カルチャー都市としての推進という言葉を用いていたのですが、具体的な内容が多様な文化資源の発掘と活用に含まれるため、国際アート・カルチャー都市の推進の部分は削除しております。

前回ご指摘のあった、区内のお祭りについては、地域独特の非日常的な祭り、イベント等は来街者にとって魅力であるため、施策の方向性で頭出しをさせていただいております。

戦略1の「3. まちの魅力の掘り下げ強化」は、豊島区の日常に根ざしたまちの魅力の掘り下げて行くことを挙げています。また、豊島区は公園の面積が23区内で下位という特徴

があり、各地域で花や緑に触れることができるのは、非常に貴重で魅力的なものになりますので、追記をしています。

戦略2は当初は、「SDGs 未来都市、ウォークアブル都市として人が主役のまちづくりの推進」とさせていただいていたのですが、SDGs 未来都市はすべての施策の前提になっておりますので、戦略の頭出しとしては、削除させていただいております。

「2. ユニバーサルツーリズムの推進」、「3. 環境に配慮した持続可能な観光の推進」を新たに入れさせていただいております。ユニバーサルツーリズムの推進では、高齢者、障害者などの配慮が必要な方についても、スムーズな観光ができるよう環境を整えていきたいと考えます。

「3. 環境に配慮した持続可能な観光の推進」ということで、SDGs に環境面の視点も入れた方がよいというご意見もございますので、2 番目に、「環境にもまちにも優しいまち歩きの推奨」を、事業者との取り組みとして、3 番目に「チームとしまと連携した SDGs の取組推進」を、4 番目として、消費活動での SDGs の側面としてエシカル消費が取上げられるので、「地域や環境に配慮した観光消費の推奨」を追記しました。

戦略3は「対象者へ訴求する情報発信の推進」で、こちらも前回のご発言を受け、ターゲット・カテゴリー毎に情報発信していく必要があるので、「2. ターゲットに合わせた情報発信の展開」としました。

戦略4は、「産業と観光の融合による新たな価値の創造」で、「2. 観光産業の持続的な成長促進」と掲げています。今回の改定は、産業との融合という点が、特徴になっています。特に、経営力の基盤強化、人材育成が観光の持続的な発展には不可欠のため記載しています。「3. 来街者の滞在及び消費促進」では、消費額を増やしていくために、滞在時間を長くすることが必要です。そのための環境整備として、宿泊や前回ご意見のありましたキャッシュレス対応を入れています。

戦略5は、「交流都市との共生推進」ということで、池袋はターミナル駅として多くの路線が乗り入れています。現在、西武沿線サミット、東武沿線サミットを通して沿線地域と交流をしており、さらに連携を強化していきたいと考えています。「1. ②相互に恩恵を享受する交流事業推進」では、交流都市がイケサンパークのファーマーズマーケットで農産物販売することで魅力を発信し、逆に豊島区にはあまり自然がないので、秩父市と箕輪町と手を結んでカーボン・オフセットということで豊島の森を作らせていただいて、恩恵を受けるような取り組みを行っています。

「2. 交流都市への送客促進」では、交流都市の魅力を発信することによって、豊島区から交流都市へ興味をもち、足を運んで頂きたいと考えています。例えば、ファーマーズマーケットで交流都市の農産物、自然豊かな観光地などを紹介することをきっかけとして、交流都市への送客につなげていければと思います。

これらの施策体系に基づいた方向性は、素案では文章化してお示しする予定です。以上になります。

(会長) はい、ありがとうございます。資料 4 をご覧いただきますと、前回からかなり修正されております。前回提示をした戦略 4 から、他の戦略に分散をして入れたということで、構成の中身や施策と施策の方向性について、皆様からご意見を頂ければと思います。もちろん、今ご説明がありました目標やビジョンにも少し修正が入っていますので、これで良いかどうかのご意見いただければと思います。では、お願いします。

(委員) とてもわかりやすいと思います。ターゲットを明確にすることによって、何をしなければいけないというものも出ておりますので、私はこういう形でいいと思います。ぜひこのまま進めばいいと思います。

(会長) はい、どうもありがとうございます。次の方お願いします。

(委員) ありがとうございます。私もとてもわかりやすいと思いました。前回お話した中でやはりコロナによって、インバウンド観光に頼ったまちのあり方は、サステナブルではないと感じたと思います。地域のコミュニティと強く連携してサポートし合えるかということや、地域の方々の産業がどうなのかがわかりやすくなっていくと良いと思います。その先には、観光客の方々がそのまち自体に訪れていないときにも、この産業をサポートできる仕組みなどが活性化してくるとよいと思います。

(会長) ありがとうございます。次の方お願いします。

(委員) ありがとうございます。前回皆さんから出たご意見を反映いただいて、コンパクトにさせていただいたと思います。一方でちょっとまだ消化しきれていないのですが、これが一番大事なところがどこなのかなと考えると、すべてが大事に思えます。主体がそれぞれ違うと思うので、実現できるのかもしれませんが、実際にやることを落とし込んでいくときに、より区民の方にわかりやすくして、こういうことを自分たちがすれば良いまちになるということや、行動喚起に繋がるような提言をしていければ良いなと感じました。

(会長) どうもありがとうございます。区民の方が読んでわかりやすい、どう行動すれば良いかわかるというのは重要な指摘だと思います。次の方お願いします。

(委員) “国際アート・カルチャー都市“という言葉が前回プランにはありました。当社としても、施設としても、様々な企業が意識をしながらアートとは何だろう、どうやって表現できるだろうと検討して、いくつか形になって、新たな発見があって良かったと思っています。“国際アート・カルチャー都市“は、象徴的な言葉と認識していますが、新プランの方には載ってないかと思います。確かに人によってはなかなか落とし込めない、それぞれの地域に特徴のある文化があるということを重視した方が良いのでは、という意見もあったので、自然な議論の結果なのかなと、私の中では思っております。

キャッシュレスについては、急激に現金の扱いが減ってきていて、日本人はもとより外国人はほとんど現金を持っていません。大規模な商業施設や民間施設だけではなく、どこまで対応できるのか、どう支援するのかというかは、利便性のあるまちには大事なかなと思っております。

(会長) ありがとうございます。次の方お願いします。

(委員) 率直な意見として、ようやくここまで変わってきたということでは、事務局ご担当の皆さんのご努力には敬意を表したいと思います。

思いとして三つあります。一つは事実と意見をきちんと分けてほしいという事です。いろいろ調査等から事実が出てきたと思うので、どのようなまちにしたいかという豊島区の思いを、その事実からどうやっていくのかは、きちんと事実と意見を分けて併記していただきたいと思っています。

二つ目は、実際に誰がやるのかということ、5W1Hではなくて7W2Hで細かく分析して、誰がいつまでにやるかということ、実行計画にちゃんと落とし込むような、そんな指針にしてもらいたいなと思っています。

三つ目は、5年後はゴールになるので、SDGsはもう外していいと思っています。おそらく来年以降、区内の状況、特に池袋は大きく変わると思います。社会変化は激しく、まちは生きているので、5年ということにこだわることなく、もう少し短いタームで見直しても良いのではと思います。

(会長) はい、ありがとうございます。次の方をお願いします。

(委員) すべてが網羅されていると思います。小さな声などを拾い上げて、戦略、施策に落ちているという意味では、本当に敬意を表します。豊島区には様々な地域がありますが、池袋西口エリアは高野前区長の思いもあるので、大事にしていきたいです。

観光はまちづくりの総仕上げというお話には共感しましたし、「まちに長くいたい」と言っていただけるようになれば、商業的にも経済的にも潤うというところでは、住民視点のまちづくりを行ってほしいと思います。まちの人が何を感じて、どんな理想を持っているのかが、重要な視点だと感じました。また、根付いている文化については引き続き大切にしていきたいと思っています。

(会長) はい、ありがとうございます。非常に重要なことをおっしゃっていただいたと思っております。次の方をお願いします。

(委員) 資料を拝見いたしました、わかりやすいと思っております。委員の皆様もおっしゃっていたように、これだけのものが実現できれば、本当に素晴らしいと思っています。同時に先ほどの発言にもありましたけれども、わかりやすく情報を提供するというのは、本当に重要だと感じたところです。

住民の方々が、こういった戦略に対して自分たちが活用できるものや、支援を受けることができるものがあるのかということも、必要な視点ではないかと感じました。

(会長) はい、どうもありがとうございます。次の方をお願いします。

(委員) 前回から、非常にわかりやすくなったなというのが一番の感想です。特に、ビジョン3で『区民が誇れる「住みたい、訪れたい」まちの実現』が入っているのが、嬉しく感じました。

実現できる観光の像を考えたときに、住民が参加できる観光、観光ということが自分ごととして捉えられ、楽しむことで、それがまちのイメージになると思います。そしてそれが

刺さるターゲット層にうまく発信していくことが、区としても来てほしい人とイコールになるのではないかと思います。

(会長) ありがとうございます。次の方をお願いします。

(委員) はい。わたしも良くできているなと思いました。

まずは、戦略 1-3 番①と②について具体的にどんなことなのかを教えてください。目標についてですが、前回は“多彩な文化“と“多様な人々“というのが出ていて、そのようなまちで誰もが楽しめるというのはわかります。今回は“多彩な文化“でときめくと、文化だけになっている気がします。人が主役のまちづくりと言っているので、人々があつた方が良いのではないかと感じました。

(会長) はい、ありがとうございます。次の方をお願いします。

(委員) はい。戦略 5 交流都市との共生推進ですが、交流都市の連携による魅力増進はわかります。ですが、交流都市への送客促進というのは豊島区から人を動かしていこうということで、今までどれだけの人を豊島区に呼ぶかを考えていたと思います。豊島区から人が出ていくことを促進していこうということが、ここに入ってくるのがよくわからないという印象を持ちました。

(会長) ありがとうございます。これまでに、いくつかご質問があったと思いますので、事務局から回答をお願いします。1 点目は戦略 1-3①②もう少し具体的にということでした。2 点目は目標の修正前と修正後のご指摘、3 点目は戦略 5 にある送客についてです。

(事務局) まずですね、①日常に根ざしたまちの魅力活用は、地域住民だからこそ知っている魅力を掘り下げることが想定しています。文化観光課でも、Jimo-Toshima ライターを募集して、自分たちが知っている地元の情報を発信してもらっています。②花と緑による地域の魅力増進は、各地域で花や緑をテーマにしたお祭り・イベントを実施しています。例えば、巣鴨では菊まつり、大塚ではバラのまつりを行っています。

目標の部分では、再度記載については、検討させていただきたいと思います。

戦略 5 交流都市との共生推進の送客については、地方との共生というものに基づいて、双方の都市にとって win-win となるような関係性作りを想定しています。例えば、交流都市に送客をして、豊島区にない自然を味わって頂くことで、双方のメリットになるということで、掲げさせて頂いております。

(会長) はい、ありがとうございます。次の方をお願いします。

(委員) 前回のプランを作ったときは、オリンピックが控えている中で、豊島区だけでなく、国も含めて、インバウンドに視点が向いていました。例えば、国際会議・イベントの誘致で、MICE が入っておりましたが、現実的ではなく、身の丈を超えたことを記載している面もありました。今回の改定では、しっかり足元を見つめながら、自分たちのできることは何かということを考えました。そうすると、やはり視点は外ではなく内にまず向けて、区民の方々が観光の担い手となることが、豊島区らしさにつながると思っています。今回の施策では、日常に根ざした魅力といった、日常の一コマが SNS で発信されて、注目されて

いることを受け、そういったところにもしっかりと視線を向けて、皆さんと一緒に観光を盛り上げていくことを、今回のプランの柱に据えたいと思っているところでございます。先ほどの“多彩な文化”と“多様な人々”というところでは、来街者同士が交流をすると取られる恐れもあるのではということで、今回外したのですが、会長と再検討させていただければと思います。

(会長) はい。ありがとうございました。ご説明のあった素案の案については、概ねご賛同いただけたということで、ありがとうございます。今後、文章が入るとまたご意見が出ると思うので、ぜひ意見出しをお願いします。

先ほど、何が大事なのかが見えづらいというご指摘をいただきました。計画を推進するにあたっては、文化観光課だけではできないことも多く、他課や庁外との連携も含め、やるべきことを細分化するとボリュームが多くなってしまいます。そういう意味では、全体として取り組んでいただくプランとして、まず受け止めていただき、その中でも実際はどこに力が入っているのかは、ビジョンに表れてくると思います。ビジョンの実現のためには、区民の生活環境を守ることは必要で、このような視点を入れていくと、様々なことに手を広げているようにお感じになっている面もあるかなと思います。

先ほどのご意見の中で、送客までやるかというところでは、区民の余暇活動としての観光にも関連する部分でもあるので、プランが区のことだけを推進する必要はないとは思っています。

また、今回は産業との融合という大きなテーマがあります。これは区民の消費にも関わるので、商工で作られている指針でも産業と観光の両輪で、消費を繋げていくことを目指しています。

最後に、主役は区の方々、住民の方々に、自分たちの生活を楽しみ、それを楽しみに来ていただける人たちに来てもらいたいというのが、豊島区の観光のあるべき姿として、このビジョンの中に色濃く見えてくれば良いと感じています。

また、宿題もいただきましたので、事務局と検討しながら修正を図っていきたいと思いますので、引き続きよろしくお願いいたします。

以上で本日予定しておりました議事は終了いたしました。他に協議をしたいことなどありますでしょうか。

(委員) 事務局からの回答を踏まえて、戦略1—3①で地元住民がとおっしゃっていたので、④も地元住民の視点のように思えました。

コロナ前はインバウンドに走りすぎたような感じはありますが、観光消費の4割5割ぐらいに近づいてくると思います。リスクはあるのかもしれませんが、やはりインバウンドにも訴求すべきかと思えます。

先ほどのMICEについては、やはりインセンティブというのは非常に重要で、インセンティブの旅行は間違いなく普通の観光よりも消費が多いので、そこへ向けた施策は必要かと思えます。

今後、オーバーツーリズムは問題になる時がくると思います。その時に問題が起こらないためにも、検討が必要だと思います。

(会長) はい。私もその通りだと思っておりますので、今頂いた点がどこで明記できるかということは、事務局と相談をさせていただきます。

では、これで今日の議事を終了にしたいと思いますので、最後に事務局からでは周知事項をお願いいたします。

(事務局) 皆様、長い時間ありがとうございました。事務局の方から皆様に一点追加のお願いをさせていただきたいと思います。

参考資料5をご覧ください。第5回委員会は11月9日を予定しておりますが、その前に私どもの方で素案を作成させていただきたいと思っております。その素案を10月下旬に委員の皆様へ送付させて頂き、事前にご意見をいただきたいと思っております。そのご意見を反映させた形で、第5回に改定素案をお示しできればと思います。ぜひご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

(会長) それでは皆様のご協力をもって、時間通りに終了することができました。本当にありがとうございます。本日、これにて閉会をさせていただきます。長時間にわたりご協議いただき、また貴重なご意見ありがとうございました。ぜひ次回以降もよろしくお願いしたいいたします。ありがとうございました。

提出された資料等	<p>【 資 料 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1 ツイート内容調査、来街者動向調査及び区民意識調査(モニター調査)を踏まえた豊島区における観光の現状及び課題 ・資料2 新 豊島区観光振興プラン 骨子(案) ・資料3 第3回豊島区観光振興プラン策定委員会でのご意見等を踏まえた対応状況 ・資料4 現 豊島区観光振興プランの進捗状況及び次期計画への継続について【修正見え消し版】 <p>【 参考資料 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参考資料1 観光立国推進計画(令和5年3月31日閣議決定) ・参考資料2 豊島区観光振興に関する来街者動向調査報告書(暫定版)【委員限り】 ・参考資料3 豊島区観光振興に関する区民意識調査報告書(暫定版)【委員限り】 ・参考資料4 豊島区観光振興に関する調査報告書(共通設問の分析)(暫定版)【委員限り】 ・参考資料5 豊島区観光振興プラン策定委員会 令和4～5年度審議スケジュール(案)【更新版】
----------	--